

THE MAGIC OF ROTARY

クラブ週報

五城目ロータリークラブ

○クラブ広報委員会

(本年度第 2 回例会)

◎四つのテスト

第 2 7 6 4 回例会 令和 6年 7月 18日(木) 午前 12:30~

☆ 点鐘

◎ ロータリーソング : 我等の生業

◎ 会長の時間: (今村会長)

・・皆さんこんにちは。先週は「境ガバナー補佐訪問」ということで、いろいろありがとうございました。堺さんからメールで大変楽しかったと礼状?が来ました。五城目ロータリークラブが大分褒められましたが、その裏話を少しお話したいと思います。今お配りした年間計画(プログラム)ですが、これは何年も前からある訳です。ガバナーエレクトが国際ロータリー協議会から帰ると、まもなくPETSが3月か4月にあるわけです。その時「RIのテーマ」と「シンボルマーク・ロゴ?」が発表されます。それを「プログラム」に入れると4月頃にはこの『年間活動計画』が出来上がる訳です。いろいろ訂正したあとに、境ガガバナー補佐に送った訳ですが、ガバナー公式訪問の日程が、都合の悪い日にあたって、訂正してもらって、今回は7月25日が残っていたのでその日になった。ガバナー補佐訪問はその2週間前と言う事で、今回の7月11日(年度初例会)になってしまいました。18日の日は如何か聞いたら、能代の方に決まっていました。

それから、当クラブの創立60周年記念式典を2025.4月の予定をガバナーエレクト事務所に報告していたので、「PETSの資料」に4月と載った訳です。そしたら本荘東RCも2025.4月に創立45周年がありますので、五城目RCは早めに日程を決めたいと思います。・・・話し合いの結果、八木下実行委員長のお寺の日程の関係もあって、4月19日(土)に決定します。この事は、地区と本荘東RCに報告しておきます。

また、次年度、次々年度と新会長になりますが、この前のIMの時、能代のあるロータリークラブの方が、会長の時間に何を話せばよいか?と言っていたので、当クラブは出来るだけ話は短く、年度前半は、ロータリークラブの変わってきたところとか、年度後半は、情報交換的な雑談も入れて、楽しくやって行きたいと思います。また、会員スピーチも予定したいと思っています。今日配った年間プログラムには、近くのクラブの会場、日時が書いてありますので、是非メークアップしてみて下さい。潟上RCは、レストラン「花の大地」で昼食をして、別室で例会となっています。以上です。

☆ 幹事報告 (八木下幹事)

- ★回覧していますが、境ガバナー補佐から11日の例会の礼状がメールで来ています。
- *ガバナー公式訪問の連絡事項。(当クラブの活動計画書は郵送しました。)*淡路直前ガバナーより、全ロータリーアンに礼状(コピー配布)*ガバナーエレクト事務所を閉鎖、ガバナー事務所開設の案内が来ています。住所電話等同じ。*『クラブ・地区支援・リソース集』が来ています。「マイロータリー」で解説。*RLI委員会のクラブ訪問について。*五城目高等学校のインターアクトクラブの新会員が6人入会しました。1年生が2人。2年生が4人です。地区IA 委員会に報告します。

☆ ニコニコ (自己申告)

*八木下会員:①(コピー回覧)永沢碧衣さんと言う方です。去年横手の近代美術館でダイ コンの絵馬展を開催した時に、その人の絵も展示していました。その方が、五城目町の「も のかたり」「彦兵衛」「高性寺」その他で分散して9月から11月まで展覧会をやるそうです。 (下記)正式には後日。②先週11日に教育委員会の研修で、山形県に行っていまして欠席 になりました。山形市内で講演があり宇宙関係の話と、もう一つは、教育委員に関する発表 でした。これは堅苦しい話でした。途中見学して行った中で、大石田町を見学したんですが、 人口が6000人くらいで、役場の隣に文化ホールがあって、中にミルハスの様な劇場もあ って、図書館、社会福祉協会もあって、会議室が多くあって、子どもも預けられるし、コン サートなどもできて、うらやましいと思って見て来ました。

☆ 出席率報告

〔出席報告〕12名中 50 % 6名出席 事前メーク0名、申告欠席 6名、病気欠席 0名 【例会場】 🍑 グリーンロイヤル丸富 〒018-1706 五城目町字下夕町 248 Tel018-852-2140 Fax018-852-4049

☆ 点鐘 (午後1:20)

ロータリー文庫 WEB サイト利用方法

https://www.rotary-bunko.gr.jp/

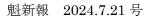
ユーザー名: rotary-bunko パスワード: bunko2024

※(半角英字<小文字のみ>・半角数字・半角記号)

ロータリー文庫では、WEB サイトを通じた文献等の公開のため、PDF の閲覧はロータリアンに限 定しております。

資料の閲覧に際しては、上記のユーザー名とパスワードのご入力が必要です。 なお、上記のユーザー名とパスワードはすべてのロータリアンで共通です。 ご不明の場合は、クラブ・ガバナー各事務所または、ロータリー文庫事務局にお問い合わせください。

> 記念ソングの額の 資材を当クラブで 負担する。







10月お披露目へ/ 歌詞看板も制作

永沢碧衣 展 会期: 2024年9月20日~11月4日

「永沢碧衣 展」展示概要 2024 年 9 月下旬より、秋田県五城目町にて、作家・永沢碧衣の側展を開催します。 生物と人の関係性から成る環境、生と死の先の姿に関心を持ち、その土地の 文脈や植生および動植物に関するフィールドワークを通じて、ヒトが向き合 う自然や生命の在り姿を描き出す永沢碧衣の活動の変遷を、大学時代の イングから近年の代表作「山衣をほどく」ほか、会別中の滞在制作によ る新作を紹介します。



1994 年 秋田県出身 絵画作家 2017 年 秋田公立美術大学 アーツ&ルーツ専攻卒業。 主に東北の狩猟・マタギ文化に関わり、自らも狩猟免許を取得。 狩猟者としての経験を重ねていくことで出会う種々のものとの関係性を記録・ 表現した絵画作品を制作している。 巨視と微視を行き来することで「人と生物と自然」の相関を問い、 それらの境界線を溶解し消化することが創作の原動。 解体した熊から膠を抽出したり、切り株をキャンパスに見立てたり、 石から絵の具を採取したり。素材としてもモチーフとしても日々、 山と向き合いながらフィールドワークを重ね、生命の根源や循環、 記憶の痕跡を辿る旅を続けている。

「POCA展 2023 (東京・上野の森美術館、2023) 「シン・ジャパニーズ・ペインティング」(神奈川・ポーラ美術館、2023) 側展「書中の山に抱かれて」(秋田・北秋田市阿仁公民館、2021) など。